

# TOYOTA JUNIOR GOLF WORLD CUP 2009

Supported by JAL



【主 催】中京テレビ放送株式会社  
 特定非営利活動法人  
 世界ジュニアゴルフ推進会  
 【主 管】ジュニアオリンピック実行委員会  
 【特別協賛】トヨタ自動車株式会社  
 【後 援】全国高等学校ゴルフ連盟  
 文部科学省  
 外務省 他

「トヨタ ジュニアゴルフ ワールドカップ 2009」が、6月16日から19日の4日間、当倶楽部に開催されました。

本大会は、世界で唯一の国別団体対抗戦。世界6大陸予選を勝ち抜いた14チームの高校生代表が国の威信をかけて戦いました。

団体戦で見事栄冠を勝ちとったのはアルゼンチン。3日目を終わって同スコアでトップタイに並んでいたアメリカに3打差をつけ通算22アンダーでの優勝でした。

日本チームは通算10アンダーの6位(昨年は9位)でしたが、個人成績では梅山知宏選手(栃木・作新学院高)が通算9アンダーの2位と大健闘。

優勝は通算14アンダーの李京勲(イ・キョンファン、韓国)でした。

## ●競技方法/各日上位3選手のスコア合計(4番ロングをミドルとして6,846y・パー71で競技)

順位/国名	氏 名	個人成績				チーム スコア
		1日	2日	3日	最終日	
1位 アルゼンチン	トマス・コチャ	71	68	69	67	830 -22
	アンドレス・スコパム	79	70	69	72	
	レアンドロ・マレリ	67	75	72	66	
	ホルヘ・フェルナンデス・バルデス	70	70	71	72	
2位 アメリカ	プリンソン・パオリーニ	72	76	68	68	833 -19
	ジェフリー・カン	71	71	69	69	
	エバン・ベック	68	70	71	73	
	T.J. ボーゲル	73	66	70	71	
3位 イングランド	トーマス・ルイス	68	75	71	68	834 -18
	マックス・スミス	71	71	68	67	
	クリストファー・ロイド	73	68	73	70	
	ジョナサン・ベル	72	70	70	70	
4位 韓国	韓 昌元	75	69	74	72	839 -13
	李 商喜	73	68	73	71	
	朴 柄周	73	75	70	72	
	李 京勲	71	68	66	65	
5位 メキシコ	セバスチャン・パスケス	72	75	73	68	840 -12
	カルロス・オルティス	72	74	73	68	
	ロベルト・パルステロス	70	71	71	67	
	サンティアゴ・ガビーノ	66	68	72	69	
6位 日本	梅山 知宏	71	68	67	69	842 -10
	森 博貴	72	72	71	72	
	伊藤 慎吾	73	75	71	70	
	松山 英樹	72	70	69	71	
7位 南アフリカ	JG クラーセン	73	71	69	71	846 -6
	リークス・ノーチェ	72	73	67	69	
	ヘドン・ボルテオス	74	74	68	68	
	ショーン・スミス	74	75	71	68	
8位T スウェーデン	マグナス・ブラン	71	78	72	70	847 -5
	ロビン・ココシンスキ	76	72	71	72	
	ヨアキム・ラグルグレン	71	72	70	67	
	ニクラス・カールソン	73	73	68	69	
8位T チャイニーズタイペイ	洪 健堯	71	71	73	75	847 -5
	黃 翰	67	72	72	72	
	楊 斐皓	73	68	73	74	
	謝 繼賢	74	67	69	70	
10位 オーストラリア	ネイサン・ホルマン	83	76	70	76	849 -3
	ジョーダン・ズニック	75	73	75	70	
	キャメロン・スミス	71	68	69	70	
	ルーク・ハンフリーズ	70	68	72	73	
11位 ポルトガル	ペドロ・フィグレド	74	71	73	80	851 -1
	ミゲル・ガスバル	72	73	66	77	
	ティアゴ・ロドリゲス	71	75	67	69	
	ホセマリア・ジョア	72	71	71	71	
12位 カナダ	ミッチェル・サットン	76	75	72	70	870 +18
	フリエン・グーレ	75	82	67	76	
	リチャード・ジュン	75	72	72	71	
	アルビン・チョイ	77	80	63	74	
13位 ノルウェー	エリアス・パーサーセン	71	75	72	71	874 +22
	マティアス・ショールベルグ	79	75	74	70	
	アクセル・オルセン	73	75	71	75	
	オーレ・ラムスネス	74	75	73	74	
14位 ウルグアイ	ファン・アルバレス	77	75	77	73	887 +35
	サンチアゴ・フィスマン	78	74	73	77	
	アルバロ・バルガス	78	76	73	69	
	アグスティン・タリゴ	73	75	70	79	

◆丸山カップ(個人ベストクロス賞) ■ 李京勲選手 270(-14)

## 熱い戦いを中京テレビで!!

7月11日(土) 10:30~11:25 放送予定

### ドライビングコンテストでは、各国の飛ばし屋たちがガチンコ対決。

6月14日、大会に先立って行われた「ドライビングコンテスト」。10番バックティから9番フェアウェイへ向かって打ち、飛距離を競いました。優勝は、322ヤードを記録したリチャード・ジュン選手(カナダ)。「アゲンストの風が強かったので低い弾道でいこうと考えていた」と語ったリチャード・ジュン選手。飛ばす秘訣は「ダウンスイングでタメをつくり、下半身のリードで頭を残して鋭く振り切ること」だそうです。



優勝したリチャード・ジュン選手



各国の選手に見守られて……

### 開会式やウェルカムパーティで、コミュニケーション。

6月15日は練習ラウンド後、開会式を開催。日本ゴルフ協会会長・安西孝之様から励ましの言葉をいただきました。開会式後、日本プロゴルフ協会会長・松井功様の乾杯の音頭でウェルカムパーティがスタート。各国の選手が親交を深めました。



安西会長よりご挨拶をいただきました。



松井会長の音頭で「乾杯!」



国境を超えて和気あいあいと。

### 優勝はアルゼンチンチーム、日本チームは惜しくも6位に。

1位から3位までわずか4打差の大接戦を制したのは、アルゼンチンチーム。卒のないゴルフをすると前評判も高かったトマス・コチャ選手が個人で2位タイに、プロトーナメントでも実績を残すレアンドロ・マレリ選手が8位タイと健闘したのが優勝の要因になったようです。昨年9位に終わった日本チームは6位に、ディフェンディングチャンピオンのノルウェーは13位でした。



丸山カップは韓国・李京勲選手の手には。



海外選手の飛距離に驚いたと語る日本チーム。



優勝を喜ぶアルゼンチンチーム。暑かった最終日、水の中も気持ちよかったです。



「いつかは世界の大舞台で」の決意を胸に……